

チェコ共和国の航空宇宙産業

(一社)日本航空宇宙工業会は、去る7月22日(金)、当工業会に於いて宇宙委員会(委員長: NEC近藤邦夫氏)を開催した。この宇宙委員会にチェコインベスト(チェコ産業貿易省管轄のビジネス・投資開発庁)駐日代表のジジラフスキー氏(Mr. Michal Zizlavsky)とチェコ宇宙連盟会長のバレシュ氏(Mr. Petr Bares)をお招きし、「チェコ共和国の航空宇宙産業」と題して特別講演を頂いた。ここに講演の概要を紹介する。

1. 講演者紹介

ジジラフスキー氏は、2015年の来日前はチェコインベストのプラハ本部にて戦略プロジェクトとニューテクノロジー部門の部門長を務めていた。

バレシュ氏はESAで勤務された後、1997年にIguass Software Systemsを立ち上げ現在まで社長を務めている。また、2006年には宇宙関連の企業16社を集めてチェコ宇宙連盟を結成した。



左：ジジラフスキー氏、右：バレシュ氏

2. チェコ共和国の投資環境と航空産業

チェコは人口1,050万人、平均年収約16,000\$ (日本は約38,000\$) である。日本企業にとってチェコは欧州域内では、英、独、仏に次ぐ4番目の投資対象国であり、製造業では98社の日本企業がチェコ国内に拠点を構えている。

チェコの航空産業としては、Aero

Vodochody社が1919年に航空機製造を開始し、現在では各種ヘリコプタ、民航機の部品製造を行っており、防衛部門ではL-159軽戦闘機の開発・製造を行っている。

また、プラハに所在するGE Aviation Czech社がH80ターボプロップエンジンを開発・製造している。



L-159軽戦闘機 (©Aero)

3. チェコ宇宙連盟

チェコは2008年にESAのフルメンバとなっ

た。チェコ宇宙連盟は2006年に設立され、民間企業16社が参加している。チェコの宇宙産業は精密機械部品、耐宇宙環境性を有する電子サブシステム、エンジニアリング、先端材料、ソフトウェア（衛星位置決定、衛星ミッションコントロール、リアルタイムソフト、オンボードソフト、地上系ソフト、地球観測）などを得意としているとのことである。

今回のご講演を快諾して下さったチェコインベスト駐日代表のジジラフスキー氏及びチェコ宇宙連盟のバレシュ氏に深く感謝いたします。



講演の様子

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 技術部長 宇治 勝〕